

軽井沢町教育大綱

「心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成」

平成 28 年 2 月策定
平成 30 年 4 月改訂
令和 6 年 3 月改訂
長野県軽井沢町

軽井沢町教育大綱改訂にあたり

軽井沢町長 土屋 三千夫

軽井沢町の歴史は、古くは縄文時代や平安時代にさかのぼり、江戸時代には中山道の宿場町として三宿が繁栄していました。その後、自然豊かで清涼な環境のもと、明治中期以降には宣教師や一部の日本人が中心となって、保養地・別荘地として開拓されました。さらに大正末期から著名な作家などの文化人が多く訪れ、町民との交流の中、かおり高い文化が生まれ育つ地域となりました。戦後には宿泊施設やスポーツ施設等が拡充されたことや、高速交通網の整備が進んだことで、多くの人に開かれた健康的で国際的な観光地として発展してきました。

現在は、別荘の増加やオーバーツーリズムの弊害、開発に伴う環境破壊などの課題も次第に表面化するようになってきており、軽井沢は大きな転換期に差し掛かっています。これからは従来の認識を変え、新たな取組が必要な時期とも言えるでしょう。

今後は、誰もが住みやすく、だれひとり取り残さず、ワクワクして人が集まり、新しい価値を生み出すまちづくりを目指します。軽井沢は伝統的に多くの人との出会いと交流の場であり、恵まれた環境から新たな創造的な活動が行われてきました。このような伝統をさらに発展させ、持続可能で魅力的な環境的にも先進的な町をめざしていきたいと考えています。

そのためには町にずっと住んでいたいと思ってもらうように、子ども子育て支援を充実していくことや、軽井沢町に育まれてきた文化的遺伝子を継承・発展させ、文化・芸術をまちづくりに編み込むなど、生涯に渡る教育環境を整備することが重要です。今後は長い歴史や多様な文化を活かして「軽井沢愛」を育み「軽井沢力」を磨くことを教育にも期待するところであります。

令和6年3月

目 次

軽井沢町教育大綱改訂にあたり	1
1 軽井沢町の教育理念	2
2 軽井沢町教育大綱の策定趣旨・期間	2
3 軽井沢町教育大綱	3～6
（1）住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまち	3
（2）自ら未来を切り拓いていく創造性豊かな子どもたちを育むまち	3～4
（3）生涯にわたって学びとスポーツに親しみ心豊かに暮らせるまち	5
（4）歴史・文化を次代に繋ぎ、文化・芸術を発展させ発信するまち	5～6
4 大綱に基づく施策の実施	6

1 軽井沢町の教育理念

◆軽井沢「こぶし教育」◆

心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成

こ・・・こころ豊かに

「人」「物」「環境」への思いやりを備えた人の育成に努めます。

ぶ・・・ぶんかを育て

国際親善文化観光都市にふさわしい人の育成に努めます。

し・・・しぜんを愛する

軽井沢の自然を愛し、自然環境を守り続ける人の育成に努めます。

※軽井沢「こぶし教育」リーフレット参照

2 軽井沢町教育大綱の策定趣旨・期間

(1) 軽井沢町教育大綱の策定趣旨

軽井沢町教育大綱（以下「大綱」という。）は、第4期教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）及び平成27年4月1日改正の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地方教育行政法」という。）第1条の3に規定されるもので、軽井沢町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。なお、地方教育行政法第1条の4第1項に基づき「軽井沢町総合教育会議」において協議・調整をした上で大綱を策定するものです。

(2) 大綱の期間

大綱が対象とする期間は、令和5年度を始期、第6次軽井沢町長期振興計画の前期基本計画の令和9年度を終期としますが、国・県及び社会情勢の動向を踏まえ、適時改訂するものとします。

	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)
基本構想	【10年間】									
基本計画	前期基本計画【5年間】					後期基本計画【5年間】				
実施計画	【3年間】									
		【3年間】								
			【3年間】							
教育大綱	【5年間】									

3 軽井沢町教育大綱

軽井沢町の教育行政を推進するため、軽井沢「こぶし教育」基本方針の理念を踏まえて、大綱として4つの項目を掲げ、各施策に取り組みます。

(1) 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまち

●基本方針

- ・子育てと仕事を両立するための支援の充実、妊娠・出産期から子育てまでの切れ目のない総合的な子育て支援サービスの拡充を図ります。
- ・地域でくらすすべての人々が、それぞれの役割を持って、自分らしく活躍できる「地域共生社会」の実現を目指し、重層的支援体制の構築に努めます。
- ・環境学習、環境教育の推進を図ります。

●目標1

安心して子どもを産み育てられる環境をつくる

●目標指標

指 標	単 位	基準値	目標値
		2020年	2027年
待機児童数	人	0	0
子育てしやすさの満足度 就学前児童保護者 小学生保護者	指数	57.6	80.0
		48.7	80.0
		(2019年)	

●目標2

子育てをみんなで支える体制をつくる

●目標指標

指 標	単 位	基準値	目標値
		2020年	2027年
子育て支援センターの登録者数	人	854	880

(2) 自ら未来を切り拓いていく創造性豊かな子どもたちを育むまち

●基本方針

- ・教員の資質・指導力の向上によって、確かな学力の向上を図るとともに、児童・生徒の社会性や心身共にたくましく生きていく人間性の育成に努めます。
- ・安全・安心で快適に利用できるICT環境の継続的な整備と教員への継続的な支援により、新しい時代に求められる子どもの資質・能力を育てます。

- ・地域と一体となって子どもたちを育む、地域とともにある学校づくりにより、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めます。
- ・教育環境の向上と施設の老朽化対策を実施し、環境に配慮した利用しやすい施設整備を進めます。
- ・学校給食への地場産物の安定供給及び有機農産物を活用する取り組みを行うとともに、生産者との交流や農業収穫体験を通じて、地域の特色や農産物への理解・関心を深めます。
- ・町の活性化・まちづくりに不可欠な軽井沢高校の魅力化を図り、存続のために町として地域を巻き込んだ支援をしていきます。
- ・町内にある教育・保育施設等において公立・私立の枠を超えた連携をさらに深め、独自の教育プログラムを確立するなど、教育・保育の魅力化を推進していきます。

●目標 1

児童・生徒の社会性や豊かな人間性を育む

●目標指標

指 標	単 位	基準値	目標値
		2020 年	2027 年
イマージョン教育講師数	人	1	4

●目標 2

児童・生徒の安全な学びの環境と心身の健康を守る学校をつくる

●目標指標

指 標	単 位	基準値	目標値
		2020 年	2027 年
学校給応援隊取り扱い野菜品目数	品	6	10
学校給食の残食量（1日1校当たり）	kg	3.4	2.0

●目標 3

軽井沢高校・教育の魅力化を推進する

●目標指標

指 標	単 位	基準値	目標値
		2020 年	2027 年
定員に対する入学者の割合	%	94.0	100
軽井沢中学校卒業生の軽井沢高校進学者の割合	%	20.0	30.0
町学習センター利用者数	人	27	40

(3) 生涯にわたって学びとスポーツに親しみ心豊かに暮らせるまち

●基本方針

- ・これまで育んできた学びの環境を最大限に活用し、子どもから高齢者に至るまで幅広い年齢層に学びの機会を提供し、人生 100 年時代における生涯学習を充実させます。
- ・心豊かな暮らしのため情報を入手し、交流できる生涯学習の場として、図書館では、あらゆる人が必要とする資料や地域の情報を提供します。また、学校図書館や近隣の図書館との連携を図り、住民の課題解決につなげます。
- ・いつでも・どこでも・だれでも主体的にスポーツを楽しめる環境をつくるため、スポーツ協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブと連携し、多様化したニーズにも応える持続的なスポーツ活動の展開、スポーツの普及振興を図ります。

●目標 1

様々な学びの機会を増やす

●目標指標

指 標	単 位	基準値	目標値
		2020 年	2027 年
中央公民館主催講座・行事の参加者数 (累計)	人	3,924 (2019 年)	5,000
図書館の利用者数 (累計)	人	166,348 (2019 年)	190,000
図書館資料の館外貸出数 (累計)	冊	153,780 (2019 年)	170,000

●目標 2

運動やスポーツを楽しむ機会を増やす

●目標指標

指 標	単 位	基準値	目標値
		2020 年	2027 年
スポーツ少年団数	団	12	12
ジュニアスポーツ体験会の開催回数	回	0	1
風越公園施設の利用者数	人	350,519 (2019 年)	380,000

(4) 歴史・文化を次代に繋ぎ、文化・芸術を発展させ発信するまち

●基本方針

- ・文化・芸術の更なる振興を図るため、町内で活動する文化・芸術団体や

文化施設の連携を強める等の施策を実施します。

- ・住民が文化に触れ、親しむ機会を創出し文化的意識の醸成を図ります。
- ・(町指定)文化財の適切な維持管理及び文化財保存補修を行い、後世へ継承します。
- ・保健休養地として発展してきた歴史的背景のもと、文化的価値のある建造物等の記録を後世へ継承します。

●目標 1

歴史・文化に親しむ機会や文化活動の連携を増やす

●目標指標

指 標	単 位	基準値	目標値
		2020 年	2027 年
文化施設での教養講座、歴史体験講座の開催回数	回	6	18
ミニコンサートの開催回数	回	3 (2019 年)	3

●目標 2

歴史・文化施設の活用や連携を促進する

●目標指標

指 標	単 位	基準値	目標値
		2020 年	2027 年
文化施設利用者数 (資料館・郷土館・堀辰雄文学記念館・近衛文麿別荘)	人	27,155 (2019 年)	28,000

●目標 3

貴重な文化財を活用しながら後世に引き継ぐ

●目標指標

指 標	単 位	基準値	目標値
		2020 年	2027 年
指定文化財・登録文化財登録数	件	43	48

4 大綱に基づく施策の実施

軽井沢町は大綱に掲げる基本方針や目標の達成に向け、軽井沢町の現状と課題を鑑み、効率的かつ効果的に教育施策を推進していきます。